

2020年2月3日

株式会社ジョリーグッド

ミャンマー・ユニティ

外国人材教育 VR をミャンマー最大の送り出し機関が導入決定！

ミャンマー政府認定送り出し機関ミャンマー・ユニティ

～2月12日（水）「ケアテックス 2020」にて講演～

株式会社ジョリーグッド(東京都中央区、代表取締役：上路健介、以下 ジョリーグッド)が提供する、外国人材介護教育VRサービス「CareVR」(ケアブイアール)が、アジアで初めてミャンマー政府認定送り出し機関のミャンマー・ユニティ(ミャンマー・ヤンゴン、代表：チョーミントン、以下 ミャンマー・ユニティ)で3月より導入が決定いたしました。

CareVRは、昨年開催された第16回日本eラーニング大賞にてグランプリを受賞した、介護研修VRサービス「ケアブル」を外国人労働者向けに再構成して開発されています。CareVRは、日本が世界に誇る介護スキルを施設での就業前にVRによって繰り返しトレーニングすることができ、理解の促進や人材価値の向上が期待できます。CareVRを活用することで、学習スピードの向上と質の高い教育の安定した普及を実現します。(<https://carevr.jp/>)



■外国人労働者増加で労働災害者数が過去最高、主な要因に「コミュニケーションが困難」

厚生労働省の発表によると、近年、日本で働く外国人の数はこの5年で倍増し、2018年10月時点で146万人を超えています。また、労働災害により死傷した外国人は2847人となり7年連続増加してい

ます。その主な要因の一つに、外国人労働者の育成に携わる指導者の多くが、言語や文化の違いによりコミュニケーションが困難であることを挙げています。

また、これまでの外国人労働者の現地教育は、講師が言語ベースで技能の流れを教えているため、日本のリアルな介護現場をイメージするのが難しく、技能の習得までには多大な時間を要していました。

■外国人材介護教育 VR サービス CareVR とは



CareVR は、実際の日本の現場でのリアルな介護の流れを、360度の介護士視点で体験学習することができます。そのため、技術の習得を効率化することができ、より一層充実した教育を行うことが可能になります。また、事前に日本でのリアルな介護現場を体験することで、就業後の早期退職の防止や日本文化へのスムーズな順応が期待できます。

【CareVR 導入のメリット】

1. 本人視点で現場体験ができる
2. 短い時間で理解・習得ができる。
3. 利用者の目線や気持ちがわかる
4. 気づく力を育成できる
5. 質の高い教育を幅広く提供できる

CareVR のコンテンツは、テキストでは理解しにくい暗黙知などの「コミュニケーション」、入浴や食事などの「介助技術」、自立支援介護とやりすぎ介護の違いなど「日本式介護概念」の3つのジャンルがあり、コンテンツ数は約30本以上が揃っています。



コミュニケーション



介助技術



日本式介護概念

<提供対象と価格>

国内外の教育機関、日本語学校、送り出し機関、国内の外国人労働者受け入れ施設など

※価格：月額15万円～

お申し込みはこちらまで(<https://carevr.jp/>)

■ミャンマー人の生徒に介護教育 VR 授業を実施

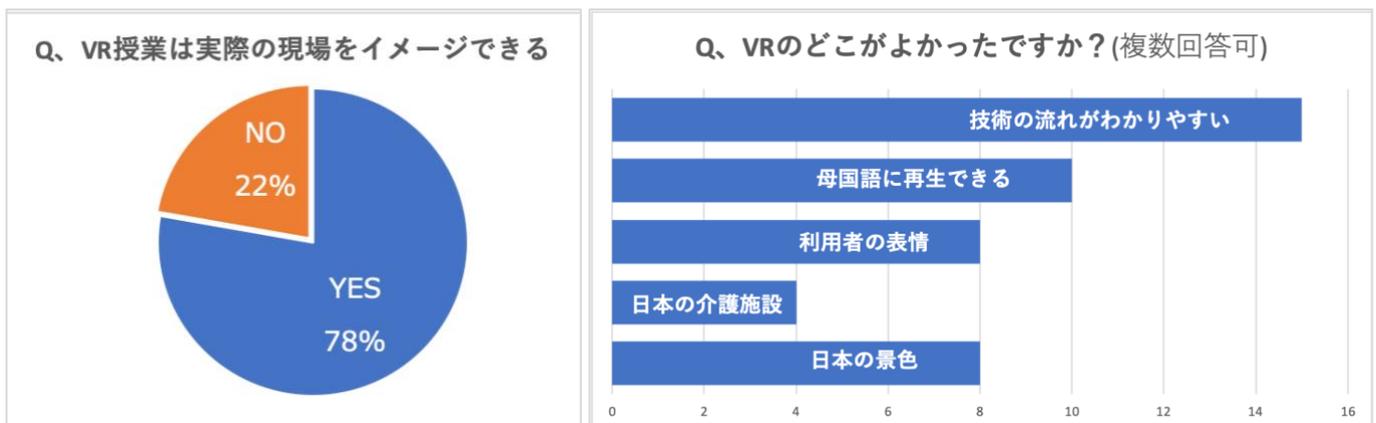
ジョリーグッドとミャンマー・ユニティは、2020年1月15日、ミャンマーのヤンゴン市にあるミャンマー・ユニティの介護教育施設にて、約30名のミャンマー人の生徒に対してVR授業を実施しました。



■78%以上が「実際の現場をイメージできる」と回答、教師の負担軽減、高い学習効果が期待できる

ミャンマーで行なったVR授業では、生徒約30名にアンケートを行いました。現地では、実際の日本の介護施設の現場をイメージすることは難しく、指導する教員からも「言葉で伝える限界を感じる」という声がある中、VR授業を受けた生徒の78%以上が「実際の現場をイメージできる」と回答。言葉だけでは伝えることのできないリアルな現場体験から、教員の負担を軽減し、より高い学習効果が期待できます。

また、同じく言葉からイメージするのが難しい技術の流れについて55%の生徒が「技術の流れがわかりやすい」と回答。外国人材の教育機関では、座学が中心のため知識は得やすいが、全体の流れの習得には課題がありました。VRでの体験学習を、座学と実習の間で取り入れることにより、効率の良い技術の習得が可能です。



<受講者のコメント>

「実際に利用者さんに、介助をしているような感覚になりました。」

「VRの方が覚えやすい。簡単に学習できると思います。」

「VRの方が早くマスターできるので、身に付くことが増えると思います。」

■ミャンマー・ユニティ 介護教育部マネージャー 奥野麻有子さんのコメント

「これまでは利用者役と介護士役とで練習をしていましたが、利用者さんのことがあまりわからないので上手くできないことがありました。VR なら利用者さんの目線で見え方などが良く分かります。また、介護は利用者さん1人だけを介護するのではなく、複数の利用者さんを同時に見ないといけないので、気づく力の育成にも使えると思います。」



■実際の介護に慣れるには VR しかない、そう思いました。

ミャンマー・ユニティ 最高顧問 北中彰さんコメント

「これから生徒がどんどん増えてくると、今まで行っていたような質の高い教育を維持することが困難になってくる可能性があります。また、日本に来てから特に異性の介護に関して抵抗を示す方が多く、異性の介護に慣れる場がない。それらをどう解決するかというと、もう VR しかないんじゃないか と思いました。介護以外でも外国人材には外食や宿泊という分野がありますが、あたかも現場にいるかのような教育が実現できる VR は、様々な業種の職業訓練において非常に有効だと思っています。」



ジョリーグッドは、CareVR を導入したい送り出し機関や日本語学校、大学、そして国内で外国人労働者を受け入れる介護施設を募集しています。ご興味のある方は公式サイトからお問い合わせください。

<https://carevr.jp/>

「ケアテックス 2020」の講演にキーマンらが集結！ (<http://caretex.jp/>)

タイトル：VR 体験学習が言語の壁を越える！技能習得を高速化！外国人材介護教育 VR プロジェクトの全貌

講演日時：2020年2月12日（水）11時40分～12時40分

講演場所：東京ビッグサイト 南ホール セミナー会場 H

モデレーター：ジョリーグッド代表取締役 CEO 上路健介

スピーカー：社会医療法人愛仁会 本部統括部長 坪 茂典

菅沼グループベトナム グループ代表 菅沼 蔵人

ミャンマー政府認定送り出し機関 ミャンマー・ユニティ 最高顧問 北中 彰

専門セミナー事前申込はこちら：<http://caretex.jp/info/seminarreservation>

■ミャンマー・ユニティについて



ミャンマー・ユニティは、今まで1, 110名の優秀な人材を日本企業へ送り出しており、ミャンマー政府より、2019年のミャンマーNo.1人材送り出し機関として表彰されました。技能実習生の職種は、介護、建設、溶接、食品加工、金属加工など多岐にわたり、ミャンマー国民がひとつでも多くのことを学べる社会づくり、もっと多くのことを学びたいと思える環境づくりを創造していけるよう活動しています。

■株式会社ジョリーグッドについて

ジョリーグッド (<https://jollygood.co.jp/>) は、高精度な“プロフェッショナルVRソリューション”と、VR空間のユーザー行動を解析するAI エンジンなどを開発するテクノロジーカンパニーです。先端テクノロジーをギークやマニアだけでなく「地域の生活者や企業が活用できるテクノロジープラットフォーム」にデザインして、数多くの企業や自治体に提供しています。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社ジョリーグッド 広報担当 小嶋 info@jollygood.co.jp TEL : 03-4455-2694

ミャンマー・ユニティ 日本駐在営業部 島根 info@m-unity.com TEL:03-5809-2216

以上